

まんまる Press

2023年冬号



Human と Animal でつくる暮らしの和
ひゅーまん + あにまる = まんまる!

まんまるプレスは

新潟市動物愛護推進員の広報誌です♪

♡ 今年度もまんまるプレスは未来を担う
お子様向けの内容になっております ♡

目次

新潟市動物愛護推進員ってなに？

推進員シリーズ

おしごとをする犬

その20 ワインドック

推進員がだす

なぞなぞ

推進員が紹介する

動物が入ったことわざ

推進員が紹介する

わんにゃん ずかん

推進員が紹介する

猫語

推進員が紹介する

いろんな動物の足跡

おまけのぬりえ

新潟市動物愛護推進員ってなに？

推進員は人と動物が住みよい
やさしい世の中をめざすボランティア

「新潟市動物愛護推進員」は、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、新潟市が委託をしています。

地域の身近な相談員として、動物に関する知識や経験を生かして、動物の飼い方を助言したり、動物の愛護と適正飼養の普及啓発活動など積極的・自主的な活動を行うボランティアです。

推進員の多くは公募によって選出されています。

その中には獣医師など動物飼育に関して高い意識と知識を持った人もいますが、何らかの形で動物愛護に係わっている人も何人かいます。

一般市民の方では、大好きな動物のため・社会のために何かをしたいと思って応募した方がほとんどです。



人と動物が住みよいやさしい社会を実現するには、
動物と地域社会に深いかかわりを持つ住民の方が積極的
・主体的に地域に根ざした動物愛護を進める必要があります。

動物愛護とは動物にやさしい社会のことです。
動物にやさしい社会は、実は人間にとっても住みよ
やさしい社会になります。

動物を飼っている人も、飼っていない人も、好きな人も、
キレイな人も、どんな人にもやさしい社会。

新潟市動物愛護推進員はそういった社会を目指しています。



～人と動物、住みよい新潟市をめざして～

新潟市では来春、新たに協力していただける推進員を公募する予定です。詳細は下記までお気軽にお問合わせください

(^^♪

新潟市動物愛護センター

TEL 025-288-0017

Mail dobutsuaigo@city.niigata.lg.jp

いぬ 犬は大むかしからわたしヒトのともだちでした。
いまではいろいろなおしごとをしてたすけてくれるいぬ犬が
たくさんいます。そんなおしごとをするいぬ犬をしようかします。

おしごとをする犬

その20 ワインドッグ



ワイナリーの看板犬としてだけでなく、ブドウの木を食べようとするウサギやポッサムといった害獣を追い払う役割も担っているとのこと。ワインづくりは自然と向き合うタフな業務。忙しい収穫期に疲れたスタッフを癒し、笑顔にするのもスキッパーとアーテミスの大事な仕事です。

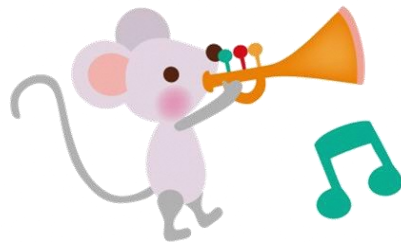
ニュージーランドのワイナリーではよく犬の姿を見かけます。ワイナリーの看板犬として活躍する犬たちは「ワイン犬(ワインドッグ)」と呼ばれて親しまれ、写真集も出版されているほど。ワイナリーを訪れたゲストに大きな尻尾をぶんぶん降って挨拶に行くことも。



どうぶつ

なぞなぞ

せきをしろっ
ていわれてい
るとりって
なあんだ？



こたえ：セキセイインコ
せきせい！インコだから





尾を振る犬は
叩かれず



よ ^{かた}
～読み方～

おをふるいぬはたたかれず

い み
～意味～

じ こしゅちょう すく すなお あいそう よ もの だれ
自己主張が少なく、素直で愛想の良い者は誰
からでも愛あいされるということ。

わん^{ワン}にゃん^{ニャン}ずかん



maltese

マルチーズ

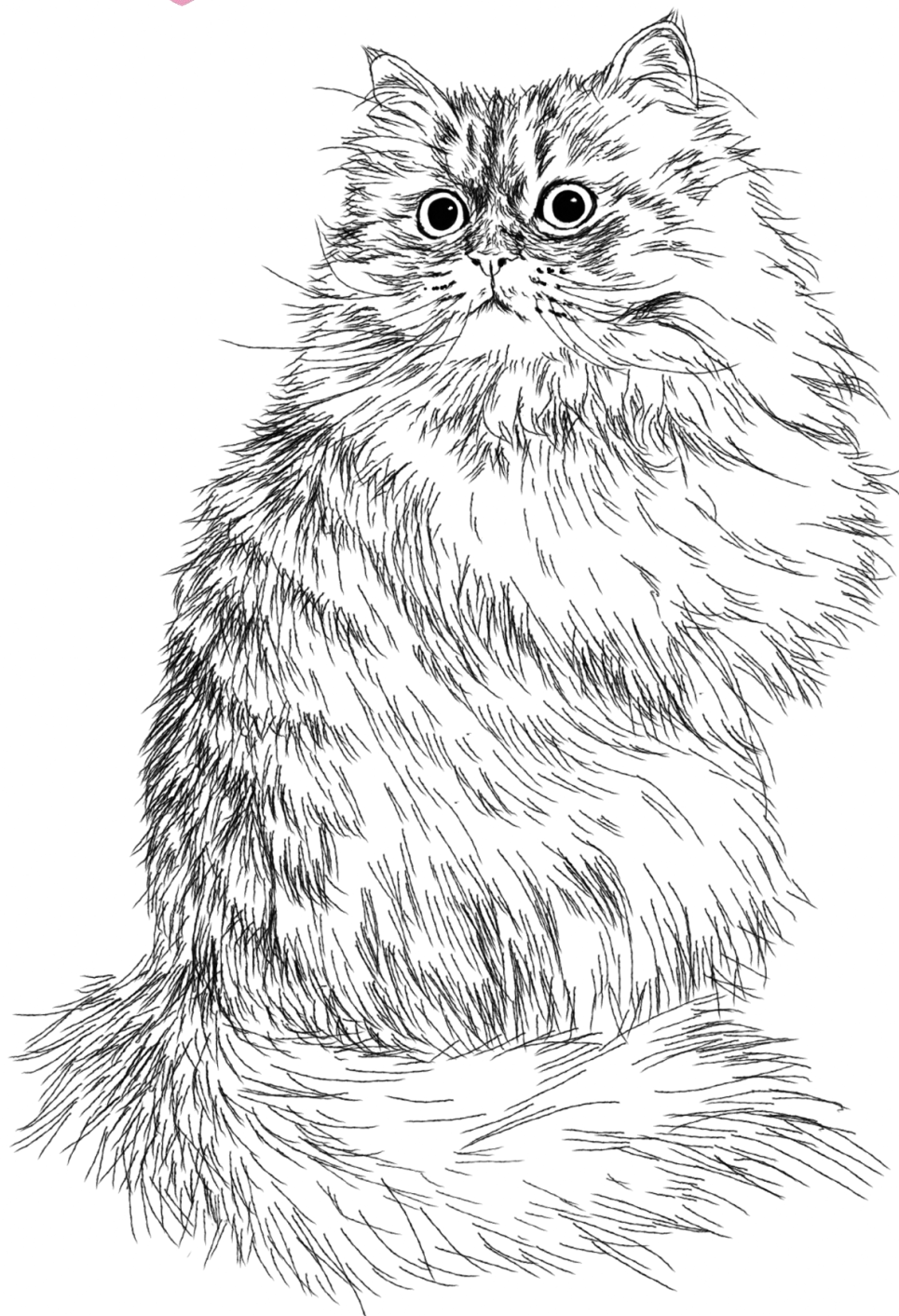
原産国 マルタ共和国マルタ島と言われている

特徴 ^{ジュンバク}純白で^マ真っ直ぐな^ス長い^{ナガ}被毛^{ヒモウ}

性格 ^{ジュウジュン}従順で^{オンコウ}温厚^{ヨウキ}陽気な^{セイカク}性格、^{ダイタン}大胆な^{コウドウ}行動をすることも

④違う特徴・性格の犬もいます

わん❤️にゃんずがん



ペルシャ

原産国 イギリス

特徴 ふさふさとしたユタ豊かなチョウモウ長毛、アシ足はミジカ短め

性格 オダ穏やかでオ落ち着ツきがある、いわゆるジョウヒン上品

④違う特徴・性格の猫もいます

な

る

ほ

ど

!

ねこのきもち



ワクワク

なんだか^タ楽しいぞ♪

⑧猫の気持ちの表現が分かりにくいこともあります

ハムスター

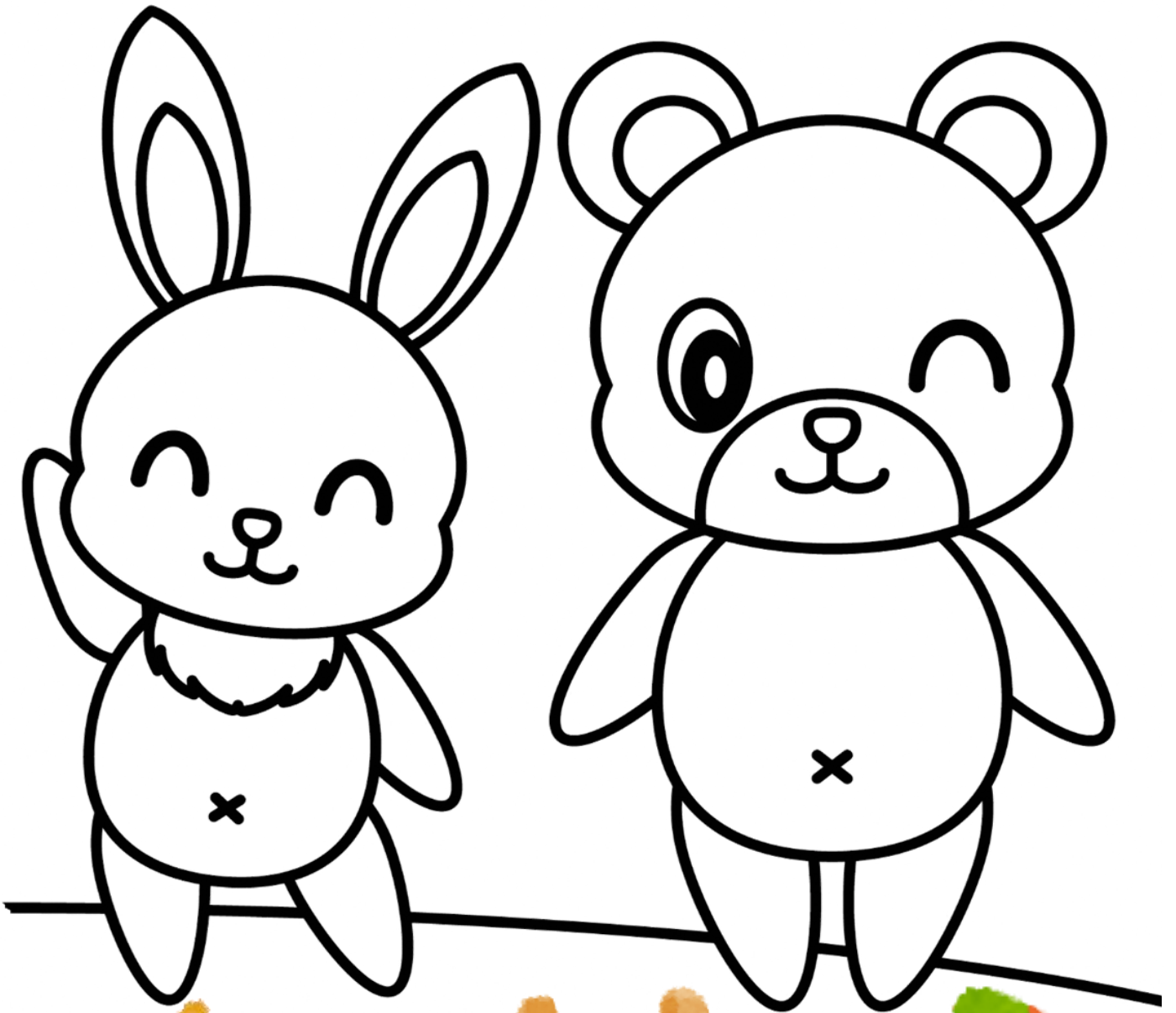
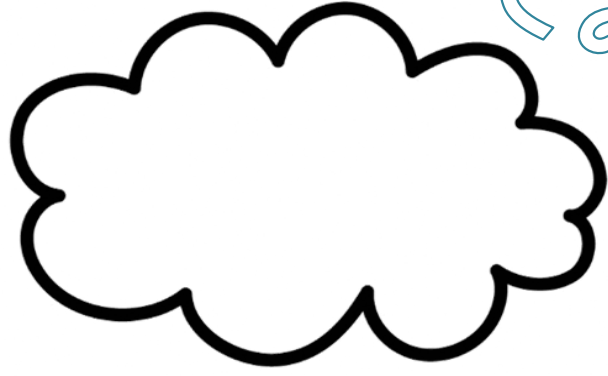


いろいろな

どうぶつの



もたないろでぬってみよ



ぬ

り

え

『まんまるプレス 冬号』いかがでしたか？

これらの記事は、新潟市動物愛護センターの
ホールでも展示されています。

次世代を担う子どもたち

そんな子どもたち向けの内容でおおくりしています。

子どもたちには少し難しい内容も

含まれておりますので

ご家族でお読みいただければ幸いです。

それでは 次回の発行をお楽しみに♪